

広報 やまこし

1987
1月
第223号

発行/山古志村役場 947-02 新潟県古志郡山古志村大字竹沢乙461 ☎(0258)59-2330代 ■編集/総務課 ■印刷/大川印刷株式会社 ■1月1日発行



お知らせ

調査員は、坂牧兵衛さん(種彦原)です。

東北電力からお願い

毎年冬期間は、雪下ろしによる引込線の断線事故が多発します。雪下ろしをするときは、頭上の電線、トランス、引込線に十分注意してください。
なお、樹木の倒壊・傾斜により、電線に接近・接触したり、切れた電線を見たら、危険ですから絶対にさわらず、東北電力(株)小千谷営業所に連絡をお願いします。(電話 八二四三六五)

消防出ぞめ式

1月4日
午前8時30分

雪から守ろう

LPガス設備

というつかりが

事故のもと

LPガス事故の大部分は、消費者の不注意によるものです。日ごろの安全管理に十分ご注意ください。

- 屋内では火がついたことを、必ず目で確かめましょう。
- いつも青い炎で使いましょう。
- ガスを使ったあとは、元せん器具を完全に閉めましょう。
- 換気に注意しましょう。
- ゴム管はときどき点検し、早目にとりかえましょう。
- もしもガスがもれたら
- 元せん・器具を閉める。
- 火は全部消し、マッチをすつたり、たばこなど吸わない。
- とびらや窓を十分に開けて、ガスを追い出す。
- コンセントの差し込みやスイッチに触れない。換気扇は絶対にまわさない。
- 販売店に連絡し、点検を受けるまではガスを使わない。

健康相談

期日	会場	時間
1月20日(火)	池谷集会所	10:00~11:30
	楢木集会所	1:30~3:00
1月21日(水)	木籠集会所	10:00~11:30
	小松倉集会所	1:30~3:00
1月26日(月)	間内平集落センター	10:00~11:30
	桂谷集落センター	1:30~3:00
1月27日(火)	下村集落センター	10:00~11:30
	梶金集会所	1:30~3:00

毎年実施している、工業に関する統計調査。今年も六十一年十二

月三十一日現在で実施いたします。内容は「工業統計調査」、「石油等消費構造統計調査」、「新潟県地場中小工業統計調査」の三つに分かれています。

製造業を営む事業所は、この三つのいずれかの調査に該当いたします。調査員が伺いましたら、ご協力をよろしくお願いします。

新潟県最低賃金

昭和61年10月2日から
1日 3,469円
1時間 434円
知ろう、守ろう、最低賃金

第19回全日本総合錦鯉品評会

とき/62年1月24日(土)25日(日)
AM9:00~PM5:00
ところ/東京流通センター
東京都太田区平和島6-1-1

■屋外(雪害)では雪がこいや、容器小屋を設けま(フロック等で堅固なもの)を配管は損傷しないよう、屋根や出窓下に排気筒(煙突)が、雪で損傷しないよう補強に工夫を。以上三点の安全対策を確認し、雪下しの際は、LPガス設備のまわりに雪を落さないようにしまし

1月の

納税・保険料

- ★村県民税(4期)
- ★保育料(1月分)

クイズの答 鷹(たか)

謹賀新年

田子の浦に
うち出でてみれば
白砂の
富士の高嶺に
雪は降りつつ

山古志かるた同好会

和気あいあいと百人一首

竹沢地区のかるた愛好家の集まり「山古志かるた同好会」会員は二十人程ですが、発足は古く今年で十六年になります。会長は、渡辺悌三さん。会の発案者でもあり、発足以来現在までつ

と会長を続けておられます。かるた会を開くのは、雪のある十二月から四月までで、平均月五回、主に夜です。会員は、老若男女が幅広く参加していて、夫婦での参加も何組あります。特に竹沢

駐在所は歴代夫婦で参加され、今の市橋さん夫婦で三代目です。会場はセンターを使ったり、各家庭を回ったりしますが、いくら吹雪でも集まりたいへんよいそうです。七、八時頃から始め、終わるのがだいたい十一時。「やってる時も楽しいが、終つてからのだんらんがまた楽しい」とのこと。酒を飲みながら、つい一時・二時までがよくあるそうです。春には「花見かるた会」、年一回は「旅行かるた会」があります。十年以上前から毎年、六日町の「五十沢かるた会」と交流も続いています。



人口の動き
(61.11.30現在)

■人口 3,258人(-25) 男 1,635・女 1,623 ■世帯数 844(-4)
■11月中のうごき □出生 2 □死亡 3 □転入 5 □転出 29



山古志村長 酒井省吾

謹賀新年

謹んで新春の御祝詞を申し上げ、皆様の御清祥を心からお慶び申し上げます。

昨年は豪雪で村民の皆さん大変ご苦労された冬でありましたが、春以降は大きな災害も無く一年を無事に過ごすことが出来ました。特に十二月ひとはめずらしくおだやかな天候に恵まれ、ここに昭和六十二年の明るいお正月を迎える事が出来ました事を皆様方と共に喜びを申し上げます。そして今年もどうか良い年でありませうと心からお祈り申し上げます次第であります。

さて今日の我が国は、激激な人口の高齢化、国際化、情報化の進展等に見られるように、激しく変わりつつあります。私たちの日常生活の中で、これらの実感がひしひしと肌で感じられるようになってきました。貿易の不均衡、円高等により、産業の空洞化が懸念され、加えて産業構造が大きく変革する中で雇用の不安も広がりつつあります。このような中で農業においても大きな危機に立たされております。米の問題が大きく取り上げ

られ、水田農業確立対策、いわゆるポスト三期対策が最重要課題として浮かび上がって来ております。山古志村には、前期転作基本目標が割り当てられた事は新聞紙上等でご案内のとおりであります。これらの目標を達成するためには農家の皆さん、農業団体の皆さんから特段のご理解とご協力をいただかなければなりません。そして、このような時代に生きる山村農業の姿はどうあるべきか、真剣に取り組まなければならぬ大切な問題であります。

これまで私たちは、高度経済成長時代の大量生産、大量消費の生活をして来ましたが、時代の変化と共に国民の考え方、価値観も大きく変わりつつあります。いままでのように単なる経済的豊かさのみを求めるだけでなく、個性豊かな特徴のあるものが尊ばれるようになり、本物志向、心の交流を求めらるふる里への回帰等に見られるように、快い生活環境や実りある文化生活と言ったように、生活内容の質の向上が求められるようにな

って来ております。このような時代、そして住民の要請にこたえて、個性豊かな魅力ある地域づくりに大きな期待が寄せられている事に思いをいたし、其の責任の重大さを改めて痛感するところであります。幸いにして最近、村民の中から山古志村に住む事に誇りとするこびを見いだした活力ある村にしたい、そんなねがいをこめて真剣に取り組む数多くのグループ活動が、村民会館を拠点として活発に展開されていることはまことに力強く、これ等の活動の中から心の過疎に歯止めがかかり、自信が湧いて来る事を信じて疑いません。山古志村には人情味豊かな人々の心が残っており耐える力とそのよきこびを伝えてくれる残雪の中のブナの緑、牛の角突き、錦鯉、いっばいに咲きこぼれる萩の花等、やがては雪も楽しいものに変えてゆきたい。山古志の歴史と自然の中には個性豊かな魅力ある地域づくりに応える素材はいっぱいあります。みんなで汗を流し、知恵を出し合って一つずつ地みちに積み上げて行く事によって、明日への明るい展望が開けるものと確信いたします。村民皆様のご多幸をお祈り申し上げます。

農業経営主意向調査

結果がまとまりました

農業委員会が十月に行った「農業経営主意意向調査」の結果がまとまりました。この調査は、減反・米価抑制等で農業情勢が年々厳しさを増す中で、農業経営主の人たちの農業に対する考え方を適確に把握して、今後村の農業の進む方向を見きわめ、行政の指針にしようとするためのものです。

対象は村内全農家で、調査農家総数七百二十五戸、回収率は約九十パーセントでした。調査項目が細かいため、概略をお知らせします。

- ◆専業別
 - 専業農家十八戸(3%)、第一種兼業農家百四戸(16%)、第二種兼業農家五百六戸(81%)
 - 圧倒的に第二種兼業農家が多数を占めています。これはやはり、耕地面積が少なく、家計における農業所得の比重が少ないということでしょう。
- ◆経営主の年齢
 - 三十九歳以下百一十七人(20%)
 - 四十歳代百五十五人(25%)、五十歳代二百五十五人(34%)、六十歳代九十九人(16%)、七十歳代以上三十二人(5%)
 - 五十歳代以上の経営主が全体の55%と半数以上で、高齢化の傾向がみられます。
- ◆家のあつぎ
 - 経営主と同居百七十八人(28%)
 - 家を離れ他出居中百二十四人(20%)、まだ未定・いない三百二十六人(52%)
 - あつぎ同居が28%で、残りはあつぎがないかまだ小さく未定ということで、前項の経営主の高齢化と大きな関連があるようです。
- ◆経営耕地面積規模別
 - 30アール未満二百七十戸(43%)
 - 30〜50アール百九十一戸(30%)
 - 50〜70アール八十七戸(14%)
 - 70〜100アール五十二戸(8%)
 - 100〜150アール二十三戸(4%)
 - 150〜200アール三戸(0.5%)、200〜300アール二戸(0.5%)

も、心のどこかに農地を守るためという考え方があつたのではないのでしょうか。

- ◆農作業従事に関する将来意向
 - 体力の続く限り従事四百八十八人(65%)、早くやめたい五十一人(8%)、何とも言えない百六十九人(27%)
 - 各年齢層を通して、体力の続く限り従事が早くやめたいを大巾に上回っています。
 - ◆五年後の農地規模
 - 拡大したい七十一人(11%)、縮小したい四十四人(7%)、現状維持四百七人(65%)、わからない百六人(17%)
 - ◆今後五年間位の農作業
 - 自家労力である二百七十七人(44%)、現状のまま二百八十八人(46%)、委託したい十六人(3%)、その他四十七人(7%)

◆安定した職場ができた場合
ぜひ勤めたい百三十四人(21%)
勤めに出る気はない九十七人(15%)、今の勤めを変える気はない百三十六人(38%)、何とも言えない百六十一人(26%)

◆兼業の種類では、年間通しての恒常的勤務が一番多く、次いで臨時、出稼と続きます。
業種は建設業が断然多く、次いで公務・団体、製造業、商業・サ

谷着	7:45	小千本	7:45
千本	10:10	谷着	10:10
小本	12:25	千本	12:25
谷着	14:00	小本	14:00
千本	17:15	谷着	17:15
小本	18:52	千本	18:52
谷着	7:45	小千本	7:45
千本	10:10	谷着	10:10
小本	12:25	千本	12:25
谷着	14:00	小本	14:00
千本	17:15	谷着	17:15
小本	18:52	千本	18:52

バス運行冬時間に

バス路線「小千谷⇨竹沢⇨桂谷線」が十二月十六日から冬時間に変更になりました。
種芋原に入っているバスは、変更ありません。

経営耕地50アール未満が73%と大半を占め、100アール以上はわずか5%と、経営耕地面積の少ないことが端的に表われています。



農地でしょうか、荒地があるようです。貸付農地
ない五百五十三戸(88%)、ある七十五戸(12%)
前の二項といっしょにみても、やはり自分の農地は自分で、ということでしょうか。それとも、貸したくても借り手がないのでしょうか。

経営主の農作業従事日数
30日未満百十七人(19%)、30〜60日二百四人(33%)、60〜150日二百三人(32%)、150日以上八十三人(13%)、不明二十一人(3%)
新潟県の十アール当たり平均労働日数は七日位です。
◆農業労働の負担感
つらい百三十六人(22%)、まあ普通四百十六人(66%)、比較的楽だ五十五人(9%)、不明二十一人(3%)
◆農業経営の意味あり
生計維持に不可欠二百五十二人(40%)、農地を守るため百二十六人(20%)、生きがい七十六人(12%)、負担に感じる三十四人(5%)、考えたことがない百十七人(19%)、不明二十三人(4%)
農業収入は、たとえ少なくても、生計を補う役割を果たしているようです。
農地を守るためと生きがいが含まれて約三割、考えたことがない

受委託はほとんどないようです。
◆雇用労働
ない五百六十一戸(89%)、ある六十六戸(11%)
◆最近五年間の経営耕地の変化
増えた五十五戸(9%)、減った五十一戸(8%)、変化なし五百二十二戸(83%)
◆経営主の農作業従事日数
30日未満百十七人(19%)、30〜60日二百四人(33%)、60〜150日二百三人(32%)、150日以上八十三人(13%)、不明二十一人(3%)
◆農業労働の負担感
つらい百三十六人(22%)、まあ普通四百十六人(66%)、比較的楽だ五十五人(9%)、不明二十一人(3%)
◆農業経営の意味あり
生計維持に不可欠二百五十二人(40%)、農地を守るため百二十六人(20%)、生きがい七十六人(12%)、負担に感じる三十四人(5%)、考えたことがない百十七人(19%)、不明二十三人(4%)
農業収入は、たとえ少なくても、生計を補う役割を果たしているようです。
農地を守るためと生きがいが含まれて約三割、考えたことがない

12月定例議会 一般質問と 11議案を審議



康保険特別会計・診療所特別会計・歯科診療所特別会計の四つの会計の補正予算案が、原案通り可決されました。

十二月十七日(水)に招集された第四回定例会は、会期二日間で十一の議案を審議し、全て原案通りに可決・承認されました。主な内容は次のとおりです。

- 教育委員会委員に、虫亀の長島源佐さんの任命が、同意されました。
- 山古志村一般職の職員の給与に関する条例が改正されました。これは人事院勧告の実施に伴い、一般職員給与を改正するものです。
- 補正予算は、一般会計・国民健

計・歯科診療所特別会計の四つの会計の補正予算案が、原案通り可決されました。

◎今議会の初日に一般質問が行われましたので紹介します。

質問
商工会青年部が過疎解消策としてスキー場建設を望み、いろいろ勉強している。この彼等の熱意に応えてやりたいと思う。金倉山の春スキーなど考えたかどうか。観光は他より早くやるべきで、雪の宅配さえある時代、錦鯉と闘牛だけでなく、ぜひスキー場建設に努力して欲しい。

答
雪を宿命とあきらめず、利用しなければと考えている。スキー場建設については、数年前に専門家から村内を調査してもらったことがある。この結果、大規模なスキー場建設ということは、きわめて諸条件がきびしいとの結論になった。自分たちで楽しむスキー場は開発の余地があるが、対外的に誘客を前提としたスキー場は、今の段階では難しいと考える。

質問
次の三点を質問したい。
(一) 過疎計画によると、六十一年に「いこいの森」事業実施とな

っているが、実施されなかった。用地交渉等はどうかになっているのか。現在の予定地が無理なら、金倉山の桑園等の他地区でもよいのではないかと。融通性をもって実施に努力してもらいたい。

(二) 六十二年に資料館の建設計画があるが、これに何億もの金を使うのはどうなのか。スキー場等の観光面にもっと急ぐべきものがあるのではないかと。

(三) 除雪について。年々よくなってきたが、生活道路なので夕方五時以降も、せめて八時ごろまでは、通勤者が安心して帰れるようにして欲しい。

答
(一)について、用地の買収が難行しているため、断念せざるを得ない状態である。今後は山古志全体を見て、新たに場所を選定したいと考える。

(二)について、計画どおり六十二年建設は無理。早くても六十三年になる。現在は素案を作っているところであり、事業費は概算で一億六千万円位と思われる。

(三)について、夜の除雪に強い要望があるのは承知しており、県とも協議している。しかしまだ人員機械力が限られているために、急には無理であるが、今年には人員を二人増やし十九人とし、一部で夜間除雪を試行する考えである。

質問
嫁対策について。過疎の山村の一番の悩みは、嫁問題である。村の活性化、若者定着にこの問題はさけて通れない。解決策として、国際結婚はどうか。すでに成功している例が他町村にある。国籍はフィリピンで、現地で集団見合い。嫁二十歳から二十三歳、むこ三十二歳から三十七歳。大半が長男。八月に五組九月に五組が結婚して入村しているとのこと。これらは日本で、安定した結婚を望んでいるのではと思われる。

答
大きな問題と認識している。しかし、結婚は本人の意志が第一。本人がそこまで望んでいるかは疑問なので、村としては今のところ国際結婚を進める考えはない。

質問
土砂くずれ、なだれの危険地区の安全対策について。木籠地区はなだれや土砂流出がすでに発生しており、非常に危険地区と考えられる。県単の集団移転で安全確保



②

「やるしかない」を新潟弁では

昨年流行した言葉の中に、ある人が言った「やるしかない」というのがあります。これを県内各地の方言に言い換えていただきたい次のようになります。

- 新潟市 やらんばねー
- 長岡市 やらんばねーならねこつやー
- 柏崎市 しねんきやならんこて
- 新発田市 やらんかかね
- 新潟市 しんばねーろつ
- 加茂市 しゅうしかねえつ
- 村上市 やんばねえーせつ
- 栃尾市 しんばんこて
- 糸魚川市 やらんきやならんやね
- 両津市 しるしかねえつ
- 豊栄市 きんばねこて
- 北蒲原郡 しよっぱねこて、しるしかねえつ
- 中蒲原郡 しんばねーこていあ
- 東蒲原郡 やんなんね、やんねばね
- 西蒲原郡 やんばねならんこていあ
- 南蒲原郡 しんばねーこてや、しねばだめらこて

- 三島郡 しんきやならんこていあ
- 北魚沼郡 しんばならんこつやおー、しやんばならんこてえや
- 中魚沼郡 しねんこつやおー
- 南魚沼郡 しなくちやなじしよもね、しなきやなんねいこつやお
- 刈羽郡 やらんきやあならん
- 東頸城郡 しねつけんねえこつやお
- 中頸城郡 しんきやあいけんねえ、しるつてもんだ、しなきやあならんがやるよかしよがねい、しねきやいけねかね、やるよりしよう
- 西頸城郡 ねいねかね
- 佐渡郡 やろまいね、せんならん
- 岩船郡 しんばねーこていあ
- 佐渡郡 せるしかない、せんなん、やらんかつちや、せにやあならん、しんきやあならん
- ◎以上、おもなもの・変わったものをあげてみました。山古志村ではなんといいですかね。

所得税の 確定申告は 正しく お早めに

所得税の確定申告は、二月十六日から始まり、三月十五日(今年の日曜日のため十六日)が申告と納税の期限になっています。期限間近になりますと、税務署は大変混雑し、落ち着いて相談できなかつたり、長時間お待ちいただくようなこととなります。確定申告はできるだけ早めに済ませてくださいます。

正しい確定申告を、所得税は、自分の所得の状況を最もよく知っている納税者が、自ら税法に従って自分の所得と税額を正しく計算・申告・納税するという申告納税制度を採用しています。

確定申告をしなければならぬ場合申告しなかったり、誤った申告をしたりしますと、後で不足の税金を納めるだけでなく、無申告加算税や過少申告加算税が課され、延滞税も納めなければならぬ

いことになりまますから注意してください。

＜申告書を自分で書くときは＞
「確定申告の手引き」や「申告書の書き方」を参考にしてください。

所得や税額の計算の仕方、申告書の書き方などわからないことがありましたら、お気軽に長岡税務署(TEL、三五二〇七〇)か、税務相談室(TEL、三三二五二二)でお尋ねください。



④

Q・クイズ

このページにある四つの絵を言葉であらわし、その頭文字を左の枠の中に番号順に入れてください。すると、お正月に関するある一つの言葉になります。

①

②

③

④

この中でみると縁起がよい、といわれている空を飛ぶもの名を、答は最後のページ下段に。



①



③

除雪戦隊

白魔に向かう

道路の除雪 圧雪体制整う

昨年十二月一日から、雪に備え道路の除雪体制を整えています。しかし十二月は、前年と違い暖かい穏やかな日が続きました。張り切っていた十九人の除雪隊員は、拍手抜けのようです。でも住民側からみれば、白い雪を見なくてすむということは、最高の喜びです。大多数の人が、冬(積雪期間)は少しでも短い方がいいと思ひ、願っていると思われまふ。

……でも、油断は禁物です。雪は白魔とか冬將軍といわれるだけに、奇襲攻撃などお手のもの。一晩あれば小さな村など簡単に制圧します。そのうえ一カ月でも二カ月でも駐留し、完全に支配下に治めようと狙ってくるのです。

これを阻止する任務を担った十九人の戦士(除雪隊員)、ロータリー車で、ドーザーで、雪上車でと村内を駆けめぐります。しかし、敵は強大なため、住民のみなさんの協力が必要です。次のこと

に特にご協力をお願いします。

▼路上駐車はしないでください。十二月から、除雪区間は駐車禁止です。路上駐車があると除雪作業に支障をきたし、交通ストップや事故の原因になります。

▼道路に雪を捨てないでください。道路沿いの家の雪おろしは、連絡をとりあい一斉作業をしてください。その際は、必要により交通規制をします。

▼玄関や車庫の雪はらはは交通に支障のないように。

▼なだれが発生したら

なだれにより通行できない場合や、なだれの危険が予想される場合は、次に連絡してください。

■村除雪対策本部
役場建設課内 電話(0)二三三〇

■県道除雪委託業者
㈱大久保土建 電話(0)二二〇六

※除雪車は、大型で小まわりがききません。作業中は危険です、指示があるまで人も車も絶対に

下の写真は、右上から横方向に前記の名前の順になっています。松井進一さんは、写真がまにあわず、掲載できませんでした。

担 当	除雪路線	国 道
大久保土建	谷平野	第2種
"	十二丁	第3種
"	木龍道	
役 場	梶金橋	
"	雪中	
"	桂谷	
大久保土建	池谷	
"	種芋原	
"	"	
"	"	

村道の除雪・圧雪区間は昨年どおり、積雪の状況等を考慮しながら村の除雪隊が行います。

◎除雪隊員

- 樺沢正利 樺沢一政 樺沢峯男
- 小幡正夫 坂牧六一 (種芋原)
- 石原光六 田中重雄 (虫亀)
- 星野武雄 関英一 関慎一
- 青木輝一 青木毅 小池彦衛
- 小池三男 (竹沢)
- 松井孝一郎 松井進一
- 川上重昭 (東竹沢)
- 齊藤光治 畔上勝 (南平)



年末年始の交通

事故防止運動

無事故でつなごう

ゆく年・くる年

年末年始の交通事故防止運動が、十二月十一日(木)から一月十日(土)までの一カ月間行われています。

- (一) 飲酒運転の追放
 - (二) 歩行者・自転車事故の防止
 - (三) 踏切事故の防止
 - (四) スリップ事故の防止
- 以上の四点です。十分ご注意ください。

通算老齢年金

支払いが

年四回に

旧年金制度の通算老齢年金を受給している人には、六月と十二月の二回に分けて年金が支払われていました。六十二年からは年四回に分けて支払われることになりました。

支払月は、二月・五月・八月・十一月の各月です。

身体障害者

職業訓練校

募集案内

石川県にある国立の「石川身体障害者職業訓練校」で、六十二年の訓練生を募集しています。

応募資格は、義務教育終了またはこれと同等以上の学力を有し、寮生活・集団生活が可能な人です。

- 訓練内容は、製版印刷科、一般事務科、トレース科、電子機器科、洋裁科、陶磁器科と分かれており、いずれの科も訓練期間は一年です。
- 入校するといろいろの特典があります。
- (一) 授業料は無料で、全寮制です。(食費、寮費等自己負担月額

近づかないでください。

ウサギは身近な動物で、いまでも野生のウサギをよく見かけますし、食肉用、毛用、毛皮用、ペットなどとして広く飼われています。また、昔からあるいろいろな物語にもウサギがよく登場しています。イソップ物語の「ウサギとカメ」や、日本の昔話の「かちかち山」「因幡の白ウサギ」などが有名です。

みなさんは、これらの物語に登場するウサギについてどんなイメージをお持ちでしょうか。

「ウサギとカメ」のウサギは、油断して昼寝をしようとするので、自信家か、なまけ者。「カチカチ山」は、おじいさんの敵うちをす

るので正義の味方になっています。しかし、タヌキをだまして背中にやけどさせたり、その傷に唐辛子を塗ったり、泥船に乗せたり、とちよつと残酷すぎるようです。



「因幡の白ウサギ」は、ワニザメをだましたつもりが、皮をむかれて赤裸になってしまいます。こうしてみるとウサギに対するイメージはいろいろのようです。

生物学的に見ても、ウサギはなかなかしたたか者です。砂漠、草原、森林、高地などあらゆる所に住むことができ、糞を食べて反すうの代わりにする習性があります。また事典にはウサギの飼育は容易で、飼育箱は幅・奥行六十センチ、高さ四十五センチあればいいという意味のことがでてきます。これが例のウサギ小屋の由来かとうなずいた次第です。

ウサギ年の今年、国連の定めた国際居住年です。貿易摩擦解消のためにも、内需を拡大し、もつと住宅を作り、みんながゆつたりした家に住めるようにしたいものです。

これは古い昔に小松倉の増田唯作さん(故人)が旧芹坪小学校と旧梶木小学校に一つづつ寄贈されたもの一つだそう。もう一体は、残念ながら雪で壊れてしまいました。



一宮尊徳像

東竹沢小学校の校庭に「一宮尊徳像」が建っています。台座一メートル位の上に乗った五十センチメートルほどの小さな像です。